

わがまちの農泊推進の可能性を考えるセミナー - 農泊による地域づくりのインパクト -

「コト消費」、「着地型旅行」など旅行形態が変化するなか、農山漁村地域においてもニーズをとらえて誘客を図ることは地域活性化の大きな起爆剤となる可能性を秘めています。

国においては、農山漁村地域ならではの伝統的な生活体験と地域の人々との交流を楽しみつつ、農家や古民家等での宿泊によって、旅行者にその土地の魅力を味わってもらう農山漁村滞在型旅行である“農泊”を推進しています。また、農泊の受け入れをビジネスとして実施できる地域の創出を目指した支援策を整備していることなどから、全国各地で農泊の取り組みに注目が集まっています。

農山漁村地域の活性化の手段として農泊に取り組むためには、関係者が一丸となって裾野の広い受け入れ体制の整備に取り組むことが重要です。そこで、市町（農林漁業、観光、地域づくり関係部署）や観光協会などの関係機関を主な対象として、農泊推進の意義や連携の重要性などについて理解するためのセミナーを開催します。

ぜひ皆様方のご参加をお待ちしております。

【日時】 平成31年3月8日(金) 13:30~16:30

【場所】 JA三重ビル本館 5階大会議室（三重県津市栄町1丁目960）

※お車でお越しの方は、県庁駐車場をご利用ください。

【対象者】 市町（農林漁業、観光、地域づくり関係部署）、観光協会、
これから農泊に取り組もうとしている協議会等の団体 などの担当者

【内容】

1. 開催のあいさつ	13:30~13:35
2. 基調講演 「日本全国 500 地域が手を挙げる！ 農泊による地域づくりのインパクト」 講師：大野 彰則氏（一般社団法人日本ファームステイ協会 事務局長）	13:35~14:20
3. パネルディスカッション テーマ：「これからの地域のカタチ・農泊のカタチ」（仮） ・コーディネーター：青木 辰司氏（東洋大学名誉教授） ・パネリスト：飯干 淳志氏（株式会社 高千穂ムラたび 代表取締役） 北山 郁人氏（一般社団法人みなかみ町体験旅行 常務理事） 中川 雄貴氏（Inaka Tourism 推進協議会）	14:20~16:20
4. 閉会のあいさつ	16:20~16:30

【申込み方法】

下記に必要事項を記入の上、郵送又はFAX、E-Mailでお申込ください。

お電話でも受け付けております。

申込期限：平成31年3月5日(火)17時まで

(FAX:059-224-3153)

ご所属団体名 (又は市町村)	お名前	連絡が取れる連絡先 電話番号(又はE-Mail)
(例) 三重県 ○○部 ◆◆◆課 △△班	(例) 三重 花子	(例) ○○○-△△-□□□□

【案内図】

JA三重ビル本館

(三重県津市栄町1丁目960)

※JA三重ビルには駐車場がありませんので、お車で
お越しの方は、県庁駐車場をご利用ください。

【問合せ先】

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

三重県農林水産部 農山漁村づくり課

農山漁村活性化班 担当：山口、西井

TEL:059-224-2518

FAX:059-224-3153

E-mail:nozukuri@pref.mie.lg.jp



〈講師・コーディネーター・パネリストの紹介〉

講師 大野 彰則(おおの あきのり)氏(一般社団法人日本ファームステイ協会 事務局長、株式会社百戦錬磨 事業戦略室)



日本初の農林漁家民宿予約サイト「とまりーな」をプロジェクトマネージャーとして推進し、グリーン・ツーリズム、農泊サービス開発に従事。その後、農林漁業体験民宿登録実施機関の事務局を担当。2016年の特区民泊運用開始に伴い、制度分析、運用業務設計を手掛け、以降、OTA、民泊、農泊の知見を以て、農泊を推進する自治体、地域協議会における農泊プロジェクトをサポートしている。

コーディネーター 青木 辰司(あおき しんじ)氏(東洋大学名誉教授、NPO 法人日本グリーン・ツーリズム・ネットワークセンター代表理事、品質認証支援研究所 所長)



専門は農村社会学、環境社会学。日本における農業・農村問題を、東北地方の農村のフィールドワークによって実証的に研究、有機農業運動や農村と都市との交流活動に積極的に関わる農民に出会い、「農」の多面的な価値を見出すネットワーク形成や、グラウンドワークの実践に取り組んでいる。



たび 代表取締役、高千穂ムラたび協議会 代表理事、九州ツーリズムコンソーシアム「ムラ

づくり」を推進し、「持続可能なムラづくり」に取り組む。地域的な農村ビジネスを起業。「世界とつながる」の辺境農村にはなかったクリエイティブな事業を営み、事業ビジョンに共感する様々なキャラクターと連携している。

みなかみ町体験旅行 常務理事)

体験旅行協議会の事務局として勤務。みなかみの体験プログラムの企画運営、教育旅行のコーディネーター、利根水源地域ネットワーク理事として、藤原

地区を中心に移住定住促進を行う。2014年に一般社団法人みなかみ町体験旅行を立ち上げ、現在に至る。

・中川 雄貴(なかがわ ゆうき)氏(Inaka Tourism 推進協議会会長、株式会社美杉リゾート代表取締役、同志社大学大学院総合政策科学研究科博士後期課程在籍)



1983年生まれ。4代続く創業88年の旅館ホテル業を営む傍ら、地域内事業者や住民らと共に、ツーリズムを軸に産業連関を起こし地域内経済を活性化させる取り組み「Inaka Tourism」事業も展開している。また、クラフトビール「火の谷ビール」の醸造責任者、「火の谷石窯パン」の製造責任者も兼務している。